



2020年5月25日

各 位

会 社 名 エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社
代 表 者 取締役社長 荒木 直也
(コード番号：8242 東証第1部)
問い合わせ先 広報部長 井上 純子
(TEL 06-6367-3181)

2020年3月期 業績予想と実績との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

2020年1月29日に公表いたしました2020年3月期連結累計期間(2019年4月1日～2020年3月31日)の業績予想と、本日公表の同実績との差異が発生しました。また、同連結累計期間において特別損失を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期連結累計期間の業績予想数値と実績との差異 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 928,000	百万円 16,000	百万円 16,200	百万円 5,000	円 銭 40.45
実績値(B)	897,289	11,171	11,831	△13,150	△106.38
増減額(B-A)	△30,710	△4,828	△4,368	△18,150	—
増減率(%)	△3.3	△30.2	△27.0	—	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	926,872	20,422	21,376	2,162	17.50

2. 業績予想と実績との差異の理由及び特別損失の計上について

2020年3月期連結累計期間(2019年4月1日～2020年3月31日)においては、2020年2月中旬以降、百貨店事業を中心に新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、売上高、営業利益および経常利益が前回発表予想数値を下回りました。

また、構造改革途上のイズミヤ株式会社における収益性の回復の遅れや株式会社阪急阪神百貨店、株式会社阪急オアシスの一部店舗の収益性の低下を受け、店舗資産投資額の回収可能性を慎重に検討した結果、減損損失14,196百万円を特別損失に計上いたしました。

これらの結果、親会社株主に帰属する当期純損失は、13,150百万円と前回発表予想を下回りました。詳細につきましては、本日適時開示しております当社決算短信をご覧ください。

以 上